

仙北組合総合病院に歯科口腔外科を設置する要望について

要 旨

現在、当地域の二次医療機関に歯科口腔外科がないことで、一次医療機関より直接三次医療機関への紹介が大半を占めているが、病名から推測しても殆どが二次医療機関に歯科口腔外科があれば解決するケースである。また、医療連携機能も多く求められるようになってきた中、地域開業歯科医間の連携、対処だけでは限界がある。これらのことから、仙北組合総合病院には病院歯科としての役割、また総合病院としての特殊性を持った役割としての歯科口腔外科が是非必要と考え、その設置を求める。

理 由

我々医療団体のみならず地域の願いでありました、基幹病院となる仙北組合総合病院の移転改築計画が大仙市・市議会をはじめとする行政や関係者の皆様のご尽力と共に地域を挙げて進められております。また、当会も地域住民と共にその機能に大きく期待するところでもあります。そして、当会では現在、その計画にかねてより念願でありました歯科口腔外科設置について要望をするべく活動を行っている最中でもあります。

その移転改築計画については、当然、母体である厚生連側が経営改善をしながら運営される事となります。しかし、3月9日の魁紙の報道にありますように、JA秋田厚生連2010年度事業計画に歯科診療機能の順次廃止を経営改善の一環として掲げられております。また、仙北組合総合病院内でも平成26年には歯科を廃科にする方向と聞いております。地域の歯科診療所は増加しておりますので一般的な歯科診療機能の廃止はやむを得ないと思われませんが、病院歯科としての役割また総合病院としての特殊性を持った歯科の役割として、歯科口腔外科が是非必要と考えます。現在当地域の二次医療機関に歯科口腔外科がないことで、一次医療機関より直接三次医療機関（秋田大学附属病院）への紹介が大半を占めます。その紹介数も多く、病名から推測しても殆どが二次医療機関に歯科口腔外科があれば解決するケースであります。地域の高齢化が進み、遠方への通院、入院がますます困難になる中、地域医療の一端を担っております歯科の立場からも地域住民への利便性、安心感を得られますようご理解を賜りたいと思います。

また、国の医療政策、県の医療計画にも病院歯科の充実、在宅医療の後方支援機能、地域クリティカルパス、地域ケア体制整備等における二次医療機関としての歯科機能が進められている最中です。それに、特殊疾患、高度基礎疾患、感染症等の有病者を抱えるケースも多くなってきており、医療連携機能も多く求められるようになってきました。地域開業歯科医間の連携、対処だけでは限界があります。

確かに、経営面から考えますと診療報酬で大きく採算の上がる科目ではありませんが、他科との連携では有利になる面もあります。また、基幹病院機能としての公的な側面としての期待感もあります。

どうか係る事情ご賢察を賜り、地域医療の一部としての機能向上を図り、地域住民の要望と当地域医療団体として長年に渡る当会員の願いと総意として標記要望をご支援いただけますよう陳情致します。

平成22年5月28日

陳 情 者 大仙市角間川町字中前田11番地
大曲仙北歯科医師会
会長 碓 氷 博

大仙市議会議長 児 玉 裕 一 様